

## 病虫害発生予察 10月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

10月の気象表 (長野地方気象台)

官 署	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	19.6	15.7	14.2	16.0	176.0	90.5	57.8	27.2	32.7
	平年	16.2	14.2	11.4	36.4	23.6	22.7	45.6	49.8	57.0
松 本	本年	18.9	15.3	13.0	11.5	213.0	124.5	48.8	31.3	32.4
	平年	15.5	13.6	10.9	47.4	26.7	27.9	45.4	51.7	62.8
諏 訪	本年	17.9	15.2	12.8	23.5	132.0	111.0	58.0	31.5	31.6
	平年	15.1	13.2	10.7	51.7	29.5	31.1	46.1	52.2	63.3
軽井沢	本年	14.7	12.5	9.8	21.5	401.0	126.0	58.1	27.2	23.5
	平年	12.1	10.2	7.8	54.7	31.3	34.0	37.6	47.1	57.5
飯 田	本年	19.8	17.2	13.9	22.0	108.5	124.5	56.5	29.4	33.0
	平年	16.6	14.8	12.0	64.4	34.6	34.7	44.3	50.3	57.2

台風第19号による記録的な大雨により、月降水量は多くの地点で10月として統計開始以来第1位を記録した。特に、北部と中部の東側の地域では、月降水量が平年の4倍以上となった地点もあった。10月は上旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風や低気圧、前線、湿った空気の影響により曇りや雨の日が多くなり、大雨となった日もあった。暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温はほとんどの地点でかなり高く、月平均気温が10月として統計開始以来第1位を記録した地点が多かった。月間日照時間はかなり少ないか少なかった。

### 1 水 稲

#### (1) 病虫害の発生状況

##### 1) カメムシ類 (斑点米)

地区予察ほにおける斑点米の発生は、県下10地点のうち諏訪市、伊那市の2地点以外は平年に比べて多かった。着色粒の発生も諏訪市、伊那市以外の8地点で平年に比べてやや多かった。

本年は斑点米カメムシ類が多く、加えて8月上旬・中旬は気温が平年に比べて高く、加害期におけるカメムシ類の行動が活発になる気象条件であったと推察される。

第1表 地区予察ほにおける斑点米と着色粒の発生率 (%)

調査地点	品 種	斑点米		着色粒(斑点米を除く)	
		本年	平年	本年	平年
佐久市	コシヒカリ	0.025	0.015	0.080	0.059
上田市	コシヒカリ	0.055	0.024	0.160	0.110
諏訪市	ひとめぼれ	0.010	0.040	0.020	0.069
伊那市	コシヒカリ	0.015	0.173	0.125	0.144
飯田市	天竜乙女	0.280	0.068	0.345	0.328
南木曾町	コシヒカリ	0.320	0.067	0.710	0.156
安曇野市	コシヒカリ	0.160	0.050	0.435	0.151
大町市	コシヒカリ	0.205	0.028	0.120	0.094
長野市	風さやか	0.050	0.019	0.180	0.076
飯山市	風さやか	0.035	0.019	0.175	0.072
平均		0.116	0.051	0.235	0.126

注) 1ほ場につき玄米20,000粒調査(平成30年度以前は30,000粒調査)。着色粒(斑点米を除く)は、カメムシ類の吸害により生じた斑点米以外で、玄米に着色が認められたもの。平年値は過去10年の平均値。

#### 2) 黄萎病 (罹病再生イネ)

10月の再生イネの調査では、地区予察ほ、巡回調査ほ場及びその周辺ほ場での黄萎病の発生は確認されなかった。

過去に発生事例がある地域(中信及び北信地方の15地点)を調査したところ、5地点で発生が確認された。

なお、生育期間中の被害は確認されていない。

第2表 巡回調査地点における黄萎病(罹病再生イネ)の発生状況

地方	調査地点数	発生地点数	発生地点率(%)		平均発病株率(%)	
			本年	平年	本年	平年
東信	15	0	0.00	2.67	0.00	0.05
南信	18	0	0.00	1.50	0.00	0.01
中信	21	0	0.00	8.00	0.00	0.25
北信	17	0	0.00	1.76	0.00	0.02
全県	71	0	0.00	3.62	0.00	0.09

注) 各調査地点で300株調査。平均発病株率は調査地点別の発病株率を地方ごとに平均したもの。平年は過去10年の平均値。

## 2 りんご

### (1) 生育概況

第1表 りんごの果実肥大状況（須坂市：果樹試験場）

調査日	ふじ							
	縦 径				横 径			
	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年
9/ 1	72.8	69.8	104	70.4	82.6	81.9	101	84.6
9/15	74.6	73.2	102	74.4	85.2	85.4	100	89.0
10/ 1	78.0	76.4	102	79.0	87.9	88.7	99	93.1
10/15	79.2	78.2	101	81.6	89.2	90.7	98	95.3
11/ 1	79.7	80.1	100	82.6	89.9	92.4	97	96.8

\*単位：径(mm)、比(%)。比は平年との比較

平年値：2004～2018年の平均値

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) 斑点落葉病

巡回調査ほでは、葉及び果実の病斑はみられず、平年並みの発生であった。

#### 2) 輪 紋 病

巡回調査ほでは、一部で発生がみられており、発生はやや多かった。

#### 3) 炭 疽 病

ニセアカシヤに近いほ場や罹病性の高い品種を中心に発生がみられており、平年並みからやや多い発生であった。

#### 4) 褐 斑 病

薬剤のかかりにくい箇所を中心に、早期落葉したほ場みもみられたが、平年並みの発生であった。

#### 5) すず点病・すず斑病

巡回調査ほ場では一部発生はみられたが、平年並みの発生であった。

#### 6) シンクイムシ類

地域によっては発生が多いところもあったが、全体的には平年並みからやや多い発生であった。

## 3 ぶどう

### (1) 病害虫の発生状況

#### 1) 晩 腐 病

各地で発生がみられるなど、平年より発生は多かった。

## 4 かき

### (1) 病害虫の発生状況

#### 1) うどんこ病

巡回調査ほ場では、葉への発病がみられた。

#### 2) 円星落葉病

巡回調査ほ場では一部で発病がみられた。また、薬剤散布の死角となったか所や防除圧の低いほ場では早期落葉もみられた。

#### 3) カキノヘタムシガ

巡回調査ほでの被害はみられなかった。

## 5 野菜・花き

### (1) 病害虫の発生状況

#### 1) トマトの病害

巡回調査ほでは、病害の発生はみられなかった。

#### 2) きゅうりの病害

巡回調査ほでは、中信地域の一部の抑制作型で、べと病の発生がみられた。中南信の巡回調査ほ場では、うどんこ病の発生が8月以降継続してみられた。

#### 3) アブラナ科野菜の病害

巡回調査ほでは、南信地域の一部キャベツほ場で菌核病がみられ、北信地域の調査ほ場周辺で、黒腐病がみられた。はくさいでは東信地域の一部の調査ほ場周辺で黒斑細菌病、黒腐病、根こぶ病の発生がみられ、中信地域の一部で軟腐病がみられた。

#### 4) レタスの病害虫

巡回調査ほでは、東信の一部地域で、斑点細菌病の発生がみられた。

#### 5) コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査ほでは、東信のキャベツ及びブロッコリーの一部ほ場で食害がみられた。その他各地でチョウ目害虫の食害がみられた。

フェロモントラップへの誘殺数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）、小諸市山浦（同 佐久支場）、諏訪郡原村（防除適期決定ほ）では平年に比べて多くなったが、他の調査地点では平年並であった。

第1表 各地のフェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	1	1	10	12	11	-
小諸市山浦（同 佐久支場）	8	4	12	12	0	0
上田市菅平高原（地区発生予察ほ）	5	2	2	0	0	0
諏訪郡原村（防除適期決定ほ）	41	7	7	25	14	12
東筑摩郡朝日村（地区発生予察ほ）	6	14	18	6	13	2
長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）	5	3	1	0	0	0

#### 6) オオタバコガ

フェロモントラップへの誘殺数は、小諸市山浦（同 佐久支場）及び下伊那郡豊丘村（防除適期決定ほ）では平年に比べて多くなった。須坂市小河原（農業試験場）では概ね平年並であったが、第4半旬は平年に比べて多くなった。塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では、平年に比べて少なかった。

第2表 各地のフェロモントラップによるオオタバコガ成虫誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	30	33	39	14	9	-
小諸市山浦（同 佐久支場）	58	43	66	51	61	3
須坂市小河原（農業試験場）	29	16	4	34	7	2
下伊那郡豊丘村（防除適期決定ほ）	65	69	76	75	64	49

#### 7) ヨトウガ

フェロモントラップへの誘殺は平年並であった。

第3表 各地のフェロモントラップによるヨトウガ成虫誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	3	5	1	0	0	0
須坂市（農業試験場）	0	0	0	0	0	0

#### 8) ハスモンヨトウ

フェロモントラップへの誘殺は平年並であった。

第4表 各地のフェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫誘殺消長

毒物劇物及び農薬危害防止運動実施中（11/16～11/30）

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	51	59	71	28	38	12
須坂市小河原（農業試験場内）	57	105	5	96	150	78
上田市菅平高原（地区発生予察ほ）	3	4	6	3	0	0

#### 9) シロイチモジヨトウ

フェロモントラップへの誘殺は平年に比べて多くなった。

第5表 各地のフェロモントラップによるシロイチモジヨトウ成虫誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	13	10	9	8	2	1

#### 10) アブラムシ類

巡回調査ほでは、南信地域の抑制きゅうり及びアスパラガスでみられた。

第6表 黄色水盤によるアブラムシ類有翅虫の飛来消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	2	2	0	1	0	-
小諸市山浦（同 佐久支場）	2	4	3	4	5	1
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	0	1	7	4	4	3

#### 11) ハモグリバエ類

巡回調査ほでは、中南信地域のねぎでみられた。

#### 12) アザミウマ類

巡回調査ほでは、各地のアスパラガス、中南信地域のねぎでみられた。

第7表 青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	2	4	0	0	1	0

#### 13) ハダニ類

巡回調査ほでは、東信の露地アスパラガスでみられた。

農薬は鍵をかけて保管しましょう！